

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)										事業コード	060202210106				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921					
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課							所属長	小西 晴之						
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	168		頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	地域再生計画(道路整備)				R7現在の状況		他事業へ統合		
根拠法令等	地域再生法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 大江山連峰の国定公園内の林道において、観光目的で不特定の車両が通行しているが、落石や路肩の崩落などが発生しており、その対策工を実施する必要がある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・林業関係者に加え、不特定の観光客の通行があるため、早期の安全通行の確保が望まれる。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 通常の林道機能に加え、観光道路としての位置づけも視野にいれて事業を実施することにより、持続可能な生活を支えることと道路等の適切な維持管理を目指す。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・対象路線の林道・作業道復旧法面改良工事(R6) ・対象路線の路肩崩落箇所の復旧工事					
対象者	森林所有者数		対象者数	109	単位あたりコスト	112.5
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	1,500		10,000		0		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0		0			
小計(①～③)		1,500		10,000		0		0			
予算財源内訳	① 一般財源	150		500		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	750		5,000		0		0			
	④ 地方債	600		4,500		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0		0			
決算情報	① 流充用額	69		261							
	② 配当予算	1,569		10,261							
	③ 執行額	1,521		10,261							
	④ 執行率	96.9%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.16	/	0.00	0.25	/	0.00	/			
	② 概算人件費	1,280		2,000							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,801		12,261							
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)(地方創生道整備推進交付金)			種類	農林業費府補助金	実績金額	5,000	決算附属資料	26	頁
		地域間交流促進ネットワーク事業(林道整備)(公共事業等)				農林業債		4,500		52	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	79000	89000	97000			
		目標値		257000	257000	257000	25800	25800	
	国定公園への来訪者数	達成度	%	31%	35%	38%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	m	35	0	58.5			
	事業実施延長(大谷・新大谷線)	当初見込		35	0	57	64	87	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	法面工や道路舗装の復旧を行うことで安心して利用者に通ずる観光林道とする。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・国定公園・多雪地域での工事ではあるが、計画通り工事実施ができています。 ・小規模ではあるが新たな落石も確認されており、早期の対策が望まれる。 ・労務費や資材費が高騰しており工事費の増加が心配される。								
現状の課題 に対する 改善策									
	・計画的に調整を行い早期の発注を目指す。 ・コスト削減を検討しながら適正な発注に努める。 ・令和7年度より「林道施設等整備事業」として統合								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	安心・安全の森づくり事業										事業コード	060202210111			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課							所属長	小西 晴之					
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	169	頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	-				R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()														
関連事業	-														

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・適正な森林整備のためには、林道・作業道等が利用できる状態を維持することが必要である。 ・観光で不特定の方が利用される林道、重要施設への出入りのために利用される林道等があり、利用者に安心・安全に通行してもらうために適正な管理が求められる。 ・京都府が施工した治山施設の下流域の水路整備が求められている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・森林所有者の高齢化等により管理ができていない森林も増えてきており、小規模であるが倒木や落石等の被害が多数発生している。 ・予算に限られていることから優先順位をつけて実施していく必要がある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・林道災害施設復旧事業の対象とならない小規模な被災林道及び作業道の復旧を行い、林道通行の早期再開を図る。 ・京都府施工の治山事業と併せて、治山施設の下流域の水路整備を行うことで、下流域の安全を確保する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡潔書きで記載すること ・林道作業道の倒木・落石・土砂等の撤去復旧(R6) ・尾藤口地区治山流末水路整備工事(R6)					
対象者	林道作業道管理者(対象者数は路線数)	対象者数	10	単位あたりコスト	1,622.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	福知山地方森林組合、株式会社畿北スキル					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	需用費	896	市所有のバックホウに係る修繕料			
	役務費	31	市所有のバックホウに係る検査費用			
	委託料	8,849	林道・作業道の復旧に係る委託料			
	使用料及び賃借料	29	林道新田線敷地に係る土地使用料			
	工事請負費	1,395	流末水路整備工事			
	積立金	3,429	豊かな森を育てる基金積立金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	12,596		12,510		0		0		
	② 補正予算	3,690		△ 3,300		0		0		
	③ 繰越予算	△ 2,454		2,454		0		0		
	前年度繰越	0		2,454		0				
	次年度繰越	△ 2,454		0		0		0		
小計(①～③)		13,832		11,664		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	4,887		7,010		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	3,690		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	5,255		4,654		0		0		
決算情報	① 流充用額	833		3,131						
	② 配当予算	14,665		14,795						
	③ 執行額	14,420		14,629						
	④ 執行率	98.3%		98.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.13	/	0.00	0.20	/	0.00	/		
	② 概算人件費	1,040		1,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,460		16,229						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	安心・安全の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	農林業費府補助金	実績金額	4,824	決算附属資料	26	頁
		安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)			農林業費分担金		286		5	
		安心・安全の森づくり事業(林道・作業道維持管理等)			農林業費分担金(明繰)		182		5	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	件		17	16	12			
		目標値			15	15	15	15	15	
	復旧業務の実施件数		達成度	%	113%	107%	80%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件		14	16	10			
	復旧路線数	当初見込			11	10	15	15	15	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	受益者から要望があった、国の災害査定の対象とならない林道・作業道の復旧									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・優先順位をつけて受益者の要望に応じていっているが、件数が多く、順番待ちをもらっている箇所も多数ある。 ・森林所有者の高齢化等により管理ができていない森林も増えてきており、小規模であるが倒木や落石等の被害が多数発生している。	
現状の課題 に対する 改善策	・地元にも理解を得ながら優先順位をつけて復旧を実施するとともに委託方法も含め、コスト削減対策を検討する。 ・令和7年度より「林道施設等整備事業」「治山関連施設等整備事業」として分割統合	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	林道施設災害復旧事業							事業コード	110201210184		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	250100 産業部農林整備課					所属長	小西 晴之			
会計情報	款	11 災害復旧費	項	02 農林施設等災害復旧費	目	01 農林施設等災害復旧費	会計	01 一般会計	決算附属資料	239	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	－			R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	－										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 近年の地球温暖化の影響などで、これまでに想定できない局所的な豪雨が頻繁に発生している状況である。そのような豪雨等により林道施設が土砂崩落や崩壊等の被災を受け、森林を活用した経済活動及び森林管理に大きな影響を与えることがある。これらの活動を早期に再開するため、林道機能の早期復旧が求められる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・近年の地球温暖化の影響などで、これまでに想定できない局所的な豪雨が頻繁に発生しているため、被災する可能性が高くなっている。 ・日常で使用する施設ではないため、普段から手入れが行き届かないところもあり、被災範囲が広がってしまうこともある。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 令和4年7月3日から4日の豪雨及び、令和5年8月14日から16日発生台風第7号豪雨災害により、被害を受けた林道を緊急的に復旧することにより、森林管理の早期再開につなげる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 林道災害復旧工事 N=15箇所(12路線)(R6)					
対象者	復旧路線数及び復旧計画路線数		対象者数	12	単位あたりコスト	8,163.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0				
	② 補正予算	151,323		0		0		0				
	③ 繰越予算	△ 108,500		110,000		0		0				
	前年度繰越	1,500		110,000		0						
	次年度繰越	△ 110,000		0		0		0				
小計(①～③)		42,823		110,000		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	2,070		12,208		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	10,689		91,332		0		0				
	④ 地方債	28,500		3,600		0		0				
	⑤ その他特財	1,564		2,860		0		0				
決算情報	① 流充用額	15,747		0								
	② 配当予算	58,570		110,000								
	③ 執行額	47,001		94,757								
	④ 執行率	80.2%		86.1%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.57	/	0.00	0.40	/	0.00	/				
	② 概算人件費	4,560		3,200								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		51,561		97,957								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	林道施設災害復旧事業(現年・単独)		種類	災害復旧債		1,000		決算附属資料	56	頁
			林道施設災害復旧事業(現年・補助)			災害復旧債		2,300			56	
			林道施設災害復旧事業(繰越明許費)			災害復旧費府補助金		86,287			28	
			林道施設災害復旧事業			農林業費分担金		2,377			5	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	路線	0	1	12				
	林道機能の復旧路線数	目標値		1	12	0	0	0		
		達成度		%	0%	8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	1	12	0				
	早期着手件数	当初見込		0	0	0	0	0		
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
	適正な進捗管理を行い早期完成を目指す。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度		
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度		
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること R5災においても、適正な工期確保のため繰越を行い、早期に完成することができた。 日常的に使用されない施設が多いため、早期発見が難しいことが課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	被災後速やかに被災状況の報告を挙げてもらえるよう、受益者への事業内容の周知を強化する。								

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	国府事業(各団体・同協会活動関係経費)								事業コード	080101110472										
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち									政策目標	2 産業基盤の整備								
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備									施策コード	921								
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課								所属長	芦田 裕人									
会計情報	款	08 土木費			項	01 土木管理費			目	01 土木総務費			会計	01 一般会計		決算附属資料	179		頁	
計画期間	開始年度	-		終了予定年度	令和8年度		関連計画画名	-						R7現在の状況		継続中				
根拠法令等	-																			
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()																			
関連事業	-																			

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 国土交通省が管理する国道9号の4車線化工事や夜久野改良、京都府が管理する国道429号や175号などの道路について事業の進捗を図るために近隣市町や地元組織と協力して同盟会や協議会を組織し、国土交通省や財務省、地元選出国会議員などへの要望活動を実施している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 本事業については、国土交通省や京都府が実施する事業推進を図るための活動を実施するものであるため、その活動自体の成果が見えにくいところはあるが、積極的に国土交通省、財務省等や国会議員への働きかけを継続して実施して事業推進を図ることが必要である。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市民の安心・安全並びに利便性の向上のため、国道9号、国道429号等の整備並びに砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業等の推進を確実なものにする予算の確保を目的として、国土交通省・財務省や国会議員等に対して要望活動を実施する。また、各種全国大会に参加することにより各事業の予算確保と事業進捗を図り、事業の早期着手・完成を目指す。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・国道9号整備促進期成同盟会は、年度当初に総会を開催し、国土交通省(東京)・近畿地方整備局(大阪)、財務省、地元選出国会議員への要望活動を行う。 ・その他の同盟会、協議会等においても事業促進に向けた取り組みを実施する。 ・京都府高速道路網整備促進協議会、京都府道路協会、砂防・治水・防災協会は、事務局(京都府)主導により、国土交通省や地元選出国会議員に要望活動を行う。					
対象者	全市民		対象者数	74,721	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	613	国道9号同盟会要望活動ほか			
	需用費	51	事務用品、印刷製本費			
	役務費	1	手数料			
	使用料及び賃借料	27	高速道路通行料			
	負担金補助及び交付金	1,100	各協議会・同盟会負担金			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,843		1,801		1,658		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		1,843		1,801		1,658		0	
予算財源内訳	① 一般財源	1,843		1,801		1,658		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	△ 199		0					
	② 配当予算	1,644		1,801					
	③ 執行額	1,618		1,792					
	④ 執行率	98.4%		99.5%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	2.43	/ 0.00	2.59	/ 0.00	/		/	
	② 概算人件費	19,440		20,720					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		21,058		22,512					
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	77	77	77				
国道9号福知山道路(5.8km)の進捗率		目標値		78	78	78	78	80		
		達成度	%	99%	99%	99%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	9	14	15				
要望活動・同盟会総会等の実施回数		当初見込		15	15	15	15	15		
活動内容① (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		事業の早期完了に向けた要望書を作成し、国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対して、事業進捗に向けた要望活動を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)		定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	箇所	2	2	2				
国道429号事業箇所数		目標値		2	2	2	2	2		
		達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	回	1	1	3				
要望活動・同盟会総会等の実施回数		当初見込		1	1	3	1	1		
活動内容② (アクティビティ)		※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		事業の早期完了に向けて京都府に協力するとともに、必要な場合は要望書を作成し、国土交通省、財務省、地元選出国会議員に対して、事業進捗に向けた要望活動を実施する。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	これまで、同盟会の要望活動を通じて国道9号福知山道路5.8km区間の内4.1kmが完成し、また国道429号榎峠トンネルの工事が進められるなど、国土交通省、京都府による道路整備の進捗が図られてきたところである。更なる進捗を図るために今後も継続して要望活動を実施していく必要があるが、課題として事業の実施主体が国土交通省や京都府であり、早期の事業完了に向けて要望することしかできないため、できるだけ早期に事業完了してほしい市が考えるスケジュール感と乖離がある事業がある状況である。	
現状の課題 に対する 改善策	継続して市の状況を伝え、要望活動を強力に推進していくとともに、早期の事業完了に向けて市も国・府に積極的に協力していく。	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	土木一般管理事業							事業コード	080101510117			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備							施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課						所属長	芦田 裕人			
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	180	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・建設交通部及び道路河川課共通の事務執行経費であり、経常経費的事业である。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた予算の中で効率的な事業運営を行っていくため、さらなる事務の効率化等が必要である。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 建設交通部の事務執行が滞りなく進められるよう、部で使用するシステムや電子機器等の維持管理、消耗品などの管理・調達を行う。 建設交通部及び道路河川課の事務的経費を一元的に管理していくことにより、過不足なく、効率的に適正な道路行政を実施する。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・デジタル複合機、土木積算システム、CADシステムなどの維持管理や部、課で使用する消耗品などの管理、調達を行う。						
対象者	—		対象者数	—		単位あたりコスト	#VALUE!
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）						
委託先・実施主体等	〈公社〉京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、〈南京都事務機販売、㈱リサーチアンドソリューション、㈱三井田商事ほか						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績（R6）	主な業務内容	費目	実績（R6）	主な業務内容	
	旅費	46	市町村道路事業会議旅費等	負担金補助及び交付金	578	近畿市町村災害復旧相互支援機構会費等	
	需用費	4,289	光熱水費、燃料費、トナーカートリッジほか	公課費	38	公用車車検	
	役務費	1,640	法定点検手数料、電信・電話料等、郵送料、道路賠償責任保険保険料ほか				
	委託料	3,016	電子計算機用ソフトウェア保守業務、CADソフト及び電子納品チェックソフト保守業務ほか				
	使用料及び賃借料	2,942	大型デジタル複合機等賃貸借料、高速道路通行料				
	備品購入費	5,663	公用車				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	18,334		17,882		13,657		0					
	② 補正予算	△ 5,000		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0		0							
小計(①～③)		13,334		17,882		13,657		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		5,000		0		0					
	⑤ その他特財	13,334		12,882		13,657		0					
決算情報	① 流充用額	1,200		332									
	② 配当予算	14,534		18,214									
	③ 執行額	14,075		18,211									
	④ 執行率	96.8%		100.0%									
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.36	/	2.45	1.93	/	1.25	/					
	② 概算人件費	25,740		18,940									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		39,815		37,151									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	12,695		決算附属資料	9	頁
			行政財産使用料(道路河川課)			土木使用料			33			9	
			公用車(道路河川課)			物品売払収入			30			32	
			未申請期間に係る占用料相当(道路河川課)			弁償金			36			42	
			土木積算単価データ利用料下水道課負担分			雑入			136			46	
			土木一般管理事業(脱炭素化推進)			土木債			4,800			52	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—			
	定性的評価	当初見込	—	—	—	—	—	—	
			※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。						
活動内容① (アクティビティ)									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
			※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。						
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	内部庶務事業であり、コスト縮減や効率化が図れる部分については、随時見直しに努めている。 特に複写機の賃貸借契約については契約更新時に導入について十分に検討を行なったことから、削減効果がでている。 管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】	
現状の課題 に対する 改善策	定期的な事務の見直しを行い、事務効率化およびコスト削減について継続的に検討を続け、よりよい道路行政の実施および適正な事務執行に努める。	

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	道路台帳整備事業							事業コード	080201120121			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備							施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課						所属長	芦田 裕人			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	01 道路橋りょう総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	181	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	道路法第28条											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()											
関連事業	-											

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事業の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となる。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 道路台帳を正確に整備し、調査及び図面を整備することにより最新の情報に更新していく。 道路行政の執行及び市民の経済活動その他に寄与する。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。道路工事などにより形状などに変更があった箇所は、以下の通り補正更新する。 ①台帳補正：補正対象路線、新規認定路線、廃止路線、拡幅・区域変更・改良路線、路面種別変更路線 ②路線網データ作成：世界測地系に変換されたデータを京都府1/2500を背景にし、データを作成 ・前年度認定・廃止・区域変更等告示した路線や改良した道路、帰属を受け認定した道路等を現地測量等実施して整備している。				
対象者	全市民	対象者数	74,721	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	アジア航測株式会社京都支店、株式会社パソコ京都支店				

主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	3,768	市道台帳更新業務委託			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予 算 情 報	① 当初予算	3,080		4,000		4,000		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①～③)		3,080		4,000		4,000		0	
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	3,080		4,000		4,000		0	
決 算 情 報	① 流充用額	3,474		△ 232					
	② 配当予算	6,554		3,768					
	③ 執行額	6,554		3,768					
	④ 執行率	100.0%		100.0%					
人 概 工 算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.39	/ 0.00	0.48	/ 0.00	/		/	
	② 概算人件費	3,120		3,840					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,674		7,608					

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	道路占用料	種類	土木使用料	実績金額	3,757	決算附属資料	9	頁
		幅員証明手数料		土木手数料		5		13	
		コピー代(道路河川課)		雑入		4		44	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容① (アクティビティ)		道路法第28条により規定されている道路台帳の整備を行う。							

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 毎年一回必ず補正しており、調書及び図面を整備することにより最新の情報に更新している。 補正する路線数についてはその年の事業内容等によるため年度によってばらつきがあり、数値目標は設定しない。【定性的評価】	

現状の課題 に対する 改善策	道路台帳を整備することは、道路法において規定されており、道路行政の執行及び道路管理事業の円滑な遂行等にも道路台帳の情報が必要となる。毎年、道路工事などで道路の形状変更があり、継続的な修正が必要となるので、できるだけ簡易な方法で修正を行ったうえで、閲覧に供するようにしていく必要がある。	

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	道路維持管理事業						事業コード	08020120122			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備					施策コード	921			
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課				所属長	芦田 裕人				
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182	頁
計画期間	開始年度	昭と63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保することが出来る。 ・道路パトロールや市民からの通報等により道路施設の異常を速やかに発見し、調査及び修繕を実施している。 ・道路除草および街路樹が繁茂することで、車両や歩行者の安全が阻害されているほか、市道上の景観が損なわれている。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・道路除草および街路樹せん定を必要とする箇所が多く、維持管理のすべてに対応できていない。 ・市道等が経年劣化により修繕を必要とする箇所が増えているため、計画的に更新していく必要がある。 ・道路パトロールや通報等により道路施設への異常対応を実施しているが、予算や人員の不足により十分に対応できていない。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 市道を適正に維持管理することにより、市民の安心・安全な道路交通を確保する。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路施設に損傷等の異常があった場合に、修繕等を実施するなど道路を適正な状態に保つように維持管理する。 ・地元要望による危険箇所の修繕等を実施する。 ・市街地や福知山駅周辺の街路樹せん定と落ち葉除去等を計画的に実施する。 ・市内の幹線道路の除草、側溝堆積物の撤去、防犯灯の設置等を実施し、道路の保全を図る。					
対象者	全市民	対象者数	74,721	単位あたりコスト	1.5	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	土木工事施工業者等、(公社)福知山市シルバー人材センター、関西電力株式会社ほか					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	3,331	除草作業謝礼	公課費	66	公用車車検
	需用費	6,574	公用車燃料代、消耗品、道路・橋りょう修繕料、車検修繕料ほか			
	役務費	10,304	道路維持管理業務等手数料、法定点検手数料、自動車損害賠償保険料			
	委託料	70,559	除草・剪定業務、測量・設計業務、その他維持管理業務委託料			
	工事請負費	1,069	道路補修工事、側溝蓋改修工事ほか			
	原材料費	1,954	常温合材、砕石ほか			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	84,476		80,926		88,243		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0						
小計(①～③)		84,476		80,926		88,243		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		2,400		5,000		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	84,476		78,526		83,243		0				
決算情報	① 流充用額	16,133		12,931								
	② 配当予算	100,609		93,857								
	③ 執行額	99,886		93,857								
	④ 執行率	99.3%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	3.53	/	2.10	1.66	/	2.00			/		
	② 概算人件費	34,120		18,880								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		134,006		112,737								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	93,821		決算附属資料	9	頁
		放置自転車保管料			雑入			1			46	
		放置自転車等買取代(道路河川課)			雑入			10			48	
				12								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	4	4	4			
		目標値		0	0	0	0	0	
	道路管理瑕疵による事故件数		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—			
	定性的評価								
	当初見込			—	—	—	—	—	—
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地元要望による危険箇所の修繕等を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	市道の維持管理は、市民生活に密接に関係しており、生活利便性の向上、車両・歩行者等の交通安全の確保、治水機能の維持として重要な業務である。市道を適正に維持管理することにより市民の安心・安全な道路交通を確保することを事業の目的としており、損傷などがあった場合には事故に繋がるおそれもあることから、修繕等の対応を可能な限り迅速に行わなければならないところであり、必要に応じて市内の巡視のほか、各自治会、市民からの要望、通報など、様々な方法で情報収集するよう努めており、情報を得たら地区等関係なくその時に動ける職員がすぐに対応することで迅速に対応出来ている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】 街路樹剪定、落葉清掃、除草、側溝清掃、防犯灯修繕等を計画的に実施することにより、道路環境の保全を図っているが、街路樹や草木の繁茂等、経費がかかることから維持管理できる範囲が限られている。 令和5年度から専任の道路/パトロール職員を2名配置し日常的に市内全域を巡視しているほか、市民からの情報提供をもとに直営での修繕対応を行っているが、予算や人員の不足により十分に対応できているとは言えない状況である。。	
現状の課題 に対する 改善策	道路環境の保全を図っているが、街路時や草木の繁茂等に係る除草についても莫大な経費がかかることから、安全を考慮しながら計画的に実施を進めている。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	除雪関連事業							事業コード	080202120123					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	芦田 裕人						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	02 道路維持費		会計	01 一般会計	決算附属資料	182	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	雪寒法													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 毎年、福知山市の冬季対策として福知山市市道除雪計画を策定している。 除雪計画に基づき、福知山市内の各除雪業者に除雪作業を依頼し、福知山市の冬季対策を実地する。 その他、凍結防止対策も実施する。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ①過疎高齢化による地元の自助・共助機能の低下 ②除雪業者の高齢化による廃業と業務辞退の増加 ③除雪機械の業者借上げ減少による経費の増加				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山市除雪計画に沿って主要生活道路の除雪作業を行なうことにより、市民の生活道路を確保し安心・安全な生活に寄与する。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市市道路除雪計画に沿って、市内の除雪路線340路線、協議路線78路線、計418路線を市内38業者に委託して除雪を実施する。 ・凍結防止対策として、2業者による凍結防止剤の機械散布と、職員による必要箇所への凍結防止剤の設置を行う。 ・除雪計画で対応できない市道路線を除雪してもらうため、自治会等が除雪機械を購入する際の費用を助成する。 ・令和6年度より、「福知山市共助による市道除雪作業費補助金」を実施しており、自治会による除雪作業費を助成している。				
対象者	全市民	対象者数	74,721	単位あたりコスト	2.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	67,559		70,777		72,420		0						
	② 補正予算	83,300		69,528		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		150,859		140,305		72,420		0						
予算財源内訳	① 一般財源	83,300		69,528		16,466		0						
	② 国支出金	10,000		16,153		13,659		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	57,559		54,624		42,295		0						
決算情報	① 流充用額	△ 19,607		33,427										
	② 配当予算	131,252		173,732										
	③ 執行額	101,622		173,732										
	④ 執行率	77.4%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	0.40	/	0.10	0.70	/	0.15	/						
	② 概算人件費	3,480		6,020										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		105,102		179,752										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	道路占用料		種類	土木使用料		実績金額	76,544		決算附属資料	9		頁
			除雪関連事業(社会資本整備総合交付金)			土木費国库補助金			3,386			18		
			除雪関連事業(臨時道路除雪事業補助)			土木費国库補助金			13,000			18		
			土地建物貸付収入(道路河川課)			財産貸付収入			938			30		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—			
	定性的評価	当初見込	—	—	—	—	—	—	
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容① (アクティビティ)									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	福知山市除雪計画に沿って主要な生活道路の除雪を行なうことにより、冬期における道路交通の確保を行い、積雪による市民生活への影響を抑え市民生活の維持を図っている。 迅速に除雪作業、凍結防止剤散布作業を行なうことにより、市道の安心・安全な交通を確保している。 積雪の多い地域を有する本市において、冬期における基幹市道の通行及び円滑な交通の確保に除雪業務は今後も必要不可欠である。 年々、除雪業者における除雪車両の維持やオペレーターの確保等が難しい状況や事故が発生してきており、地元企業の少ない地域においては除雪業者の確保に苦慮する状況が生じている。 維持管理事業であり、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
現状の課題 に対する 改善策	現在業務を委託している業者に引き続き受託してもらえるよう、除雪期間外に舗装路面の平滑化(突起物をなくすこと)や除雪業者と実施路線の点検・見直し等を行い、除雪実施業者の負担軽減に努める。

(単位：千円)

事業名	道路橋りょう一般管理事業							事業コード	080202120203		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	芦田 裕人			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	02 道路維持費	会計	01 一般会計	決算附属資料	182・183	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 道路・橋りょうの維持管理を適切に行う。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費の削減を図る。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 道路・橋りょうを適切に維持管理し安全性を高めることで、安心・安全のまちづくりの推進を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・主に道路・橋りょうの街路灯の維持管理経費。 ・その他、道路・橋りょうについての研修会等に参加する予算を確保し、職員の技術力アップを図る。					
対象者	全市民	対象者数	74,721	単位あたりコスト	0.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	旅費	130	チェーンソーによる伐木等特別教育受講旅費ほか			
	需用費	5,961	電気代			
	使用料及び賃借料	14,784	福知山市街路灯・公園灯LED照明化事業賃貸借			
	負担金補助及び交付金	138	研修等参加負担金			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	21,432		21,229		20,439		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0			
	次年度繰越	0		0		0			
小計(①～③)		21,432		21,229		20,439		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	21,432		21,229		20,439		0	
決算情報	① 流充用額	0		△ 113					
	② 配当予算	21,432		21,116					
	③ 執行額	19,303		21,013					
	④ 執行率	90.1%		99.5%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.05	/	0.00	0.10	/	0.00	/	
	② 概算人件費	400		800					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,703		21,813					
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料	
				17					

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—		
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—			
	定性的評価	当初見込	—	—	—	—	—	—	
			※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。						
活動内容① (アクティビティ)									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
			※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。						
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	道路・橋りょうの利用者のために街路灯を設置しているものであり、利用者の安全確保において必要不可欠な事業である。 市域には多くの街路灯があり、維持管理にかかる費用は年々増加傾向にあったが、LED灯具への更新により電気料金を削減できた。 例年参加している道路・橋りょう維持管理に関する講習会等へ参加し、職員の資質向上を図ることができた。 維持管理事業のため、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】	
現状の課題 に対する 改善策	引き続き街路灯を適正に維持管理し、道路・橋りょうの安全性の確保に努める。 道路・橋りょうの維持管理にかかる研修についても積極的に参加し、職員の資質向上に努める。	

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—			
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	—	—	—	—			
	定性的評価	当初見込	—	—	—	—	—	—	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	通学路の合同点検で抽出された危険箇所および自治会要望での危険箇所において、交通安全対策を実施することにより、児童等の歩行者や車両の安心安全な道路交通の確保を図る。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ <u>必要性、効率性、有効性の観点</u> を基に記述すること めまぐるしく変化する道路交通状況のなか、交通安全対策に対するニーズに応えることにより、予測できる危険の軽減を図り、通行する人や車両の安全の確保に努めている。とくに通学路については福知山市通学路安全推進会議で策定された福知山市交通安全プログラムに基づき、道路管理者として市道における通学路の危険箇所の安全対策を進めている。 地元、学校、PTAなどからの交通安全対策に関する要望は多く、全てには応えられていない。 緊急度に応じて対策を実施することから、業績指標の目標設定は困難であるため設定しない。【定性的評価】
	数多くある要望に対し、特に通学路等については市交通安全プログラムに基づき教育委員会等の関連部署と連携を取りながら、緊急度・優先度などを見極めて実施箇所を検討していく。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	緊急安全対策整備事業							事業コード	080203120210					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921					
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	岡部 隆幸						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計	決算附属資料	183	頁
計画期間	開始年度	令和2年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	-			R7現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・自治会等からの要望件数が毎年約650件あり、うち実施可能なものが200件程度あることから、継続的に実施していく必要がある。 ・街路樹の成長が著しく、視距の悪化や幅員の減少、根などによる路面の凹凸等により歩行者の安全が確保できていない。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・自治会要望等は減少することなく提出されることから、緊急度・優先度をもとに継続的に進めていく必要がある。 ・歩行者の安全を確保するために、支障となっている街路樹や伐採後の根を計画的に撤去していく必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・自治会要望に対して工事及び修繕等を実施することで、市民満足度の向上を図る。 ・街路樹および植樹柵の撤去による歩道整備を実施することにより、歩行者の安全や生活環境の改善を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・自治会要望による危険箇所等の改修を行い、市道の安全対策を実施する。 ・街路樹および植樹柵の撤去による歩道整備を行い、市道歩道の安全対策を実施する。									
対象者	全市民				対象者数	74,721		単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	45,000		45,000		0		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		45,000		45,000		0		0				
予算財源内訳	① 一般財源	45,000		45,000		0		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		△ 9								
	② 配当予算	45,000		44,991								
	③ 執行額	44,725		44,991								
	④ 執行率	99.4%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全庁年度任用職員)	0.50	/	0.00	0.95	/	0.00	/				
	② 概算人件費	4,000		7,600								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		48,725		52,591								
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称			種類			実績金額			決算附属資料		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	157	148	186			
		目標値		150	175	175	—	—	
	自治会要望対応完了数		達成度	%	105%	85%	106%	#VALUE!	#VALUE!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	157	148	186			
	自治会要望対応工事実施数	当初見込		150	175	175	—	—	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること 工事実施数＝地元要望に応えた数であり、見込み通りに実施できている。 危険箇所等を改修することで市民の安心・安全の確保につながっているが、要望箇所数は多く、全ての要望には応えられていない。
現状の課題 に対する 改善策	一度に全ての要望に応えることは困難なため、一定の予算を確保しながら継続的に事業を実施していく。 要望箇所をしっかりと把握した上で、効率的な事業実施に努める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	交通安全対策整備事業(通学路緊急対策)										事業コード	080203120211				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921					
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課							所属長	岡部 隆幸						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計		決算附属資料	183		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	京都府福知山市通学路緊急対策推進計画					R7現在の状況	継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 令和3年6月千葉県八街市で発生した事故を受け、「通学路等における交通安全の確保及び飲酒運転の根絶に係る緊急対策(令和3年8月4日関係閣僚会議決定)」に基づき、これまでの点検観点に加えて新たな3観点を踏まえて緊急通学路合同点検を実施された。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、どのような方法で通学路等の安全確保を行うかが課題である。 歩道設置・拡幅、ガードレール等の防護柵の整備、物理的デバイスなどの新規対策を検討し、通学路における交通安全の確保を行う。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、速度規制や通学路の変更など関係機関等によるソフト面での対策を組み合わせつつ、実施可能な箇所において計画的かつ集中的にハード対策を実施することで、通学路における更なる交通安全の確保を行う。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 緊急合同点検で抽出された対策必要箇所において、効果的及び効果的に安全対策を実施する。 ・路面標示の設置 速度抑制を促す対策 N=4路線 ・路肩設置、拡幅 路肩設置による歩車道の分離 N=1路線 ・防護柵の設置 通学児童等を車両から保護する対策 N=2路線 ・交差点改良 信号機設置に向けた交差点改良 N=1路線 ・歩道設置 歩道設置による歩車道の分離 N=2路線									
対象者	全市民				対象者数	74,721		単位あたりコスト	1.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	50,800		104,400		91,585		0		
	② 補正予算	0		△ 11,700		0		0		
	③ 繰越予算	△ 950		△ 6,443		0		0		
	前年度繰越	41,271		42,221		0				
	次年度繰越	△ 42,221		△ 48,664		0		0		
小計(①～③)		49,850		86,257		91,585		0		
予算財源内訳	① 一般財源	855		5,159		3,771		0		
	② 国支出金	27,995		46,698		66,378		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	21,000		34,400		70,100		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	1,000		0						
	② 配当予算	50,849		86,257						
	③ 執行額	50,849		85,322						
	④ 執行率	100.0%		98.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.62	/	0.00	0.70	/	0.00	/		
	② 概算人件費	4,960		5,600						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		55,809		90,922						
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	交通安全対策整備事業(通学路緊急対策) (道路交通安全施設等整備事業費補助)		種類	土木費国库補助金	実績金額	24,053	決算附属資料	18	頁
		交通安全対策整備事業(通学路緊急対策)(道路交通安全施設等整備事業費補助)(繰越明許費分)			土木費国库補助金		22,644		18	
		交通安全対策整備事業(通学路緊急対策)(公共事業等)			土木債		34,300		52	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	路線	7	8	9			
	通学路の安全確保(累計)	目標値		10	10	10	10	10	
		達成度		%	70%	80%	90%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	7	1	1			
	対象実施路線数			7	3	2	1	1	
		当初見込							
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	令和3年に実施した緊急通学路合同点検により抽出された安全対策必要箇所において、計画的かつ集中的に通学路の安全対策を実施する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	関係機関等により実施された通学路緊急合同点検により、学校等からの要望に沿った通学路の危険箇所が選定されている。緊急合同点検で抽出された危険箇所の10箇所のうち9箇所についての緊急対策は完了し、安心安全な通学路の確保が完了したところである。残る1箇所においては、京都府の河川改修工事との進捗調整が必要な箇所であることから、計画に遅れが生じないように京都府との綿密な調整が必要である。また、本事業は令和3年度の合同点検での危険箇所への対策が対象となっていることから、令和4年度以降に抽出された危険箇所には対応することが出来ない。								
現状の課題 に対する 改善策	京都府の河川改修工事との調整が必要となるため、しっかりと連携を取り、引き続き効果的かつ効率的な事業実施に努める。								

(単位：千円)

事業名	辺地対策事業							事業コード	080203120307		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	岡部 隆幸			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	184	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	辺地計画			R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・地元からの市道改良要望路線等が多数提出されている。 ・経年劣化や舗装の耐久性の低下により、段差やひび割れが発生し、通行に支障が生じている。 ・道路幅員が狭く、離合が難しい道路が存在している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・地元要望が多数あることから、継続的な工事の実装が必要である。 ・舗装の劣化により段差や水たまり等が生じると、車両だけでなく歩行者にとっても悪影響である。 ・幅員の狭い道路では、離合するために時間がかかり、事故の危険も伴う。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・辺地地域における交通基盤を確保し、辺地地域の活性化を図る。 ・安心・安全な道路交通を確保することにより、辺地地域における市民生活の向上を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること 辺地計画に基づき、地元要望箇所 の必要度、緊急度、経済効果等を考慮し道道路部分改良、道路舗装改良を実施した。					
対象者	全市民		対象者数	74,721	単位あたりコスト	0.2
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	工事請負費	12,555	竹石線舗装改良工事			

25

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	路線	2	2	1			
		目標値		2	2	1	0	0	
	適切な道路改良の実施	達成度		%	100%	100%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	2	2	1			
		当初見込		2	2	1	0	0	
	工事実施路線数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	道路拡幅、舗装改良等を実施することにより、辺地地域の安心・安全な道路交通を確保し、辺地地域における市民生活の向上と地域の活性化を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・本市の辺地地域における自治会要望に対し、辺地計画に基づく辺地対策債という有利な財源を活用し、計画的な市道の舗装改良を実施しており、快適な生活環境の確保や辺地地域の活力の創造に資することができている。 ・計画的に事業を実施するためには、十分な財源を確保していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・有利な財源である辺地対策債を活用し、計画に沿って事業を実施していく。	

(単位：千円)

|| 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	道路新設改良	種類	土木費分担金	実績金額	197	決算附属資料	6	頁
		道路改良事業(公道・長寿命化)		土木債		8,400		52	
		道路改良事業(緊急自然災害防止対策)		土木債		75,800		52	

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	路線	6	8	12			
	適切な道路改良の実施	目標値		6	6	4	17	17	
		達成度		%	100%	133%	300%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	6	6	11			
	工事実施路線数	当初見込		6	6	3	15	15	
				※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。					
活動内容① (アクティビティ)	道路拡幅、舗装改良等を実施することにより、緊急車両の通行や沿道住民及び通行者の安心・安全で円滑な交通を確保する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
				※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。					
活動内容② (アクティビティ)									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・自治会要望に基づく計画的な市道の新設改良、舗装改良等を実施し、市民生活の利便性の向上を図っている。 ・多くの自治会要望がある中、必要性、緊急性、経済効果などを考慮しながら精査し、事業箇所を決定している。しかしながら財政状況が厳しいことから、施工路線についてはさらに精査し、優先度をつけて計画的に実施していく必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	・社会資本整備総合交付金事業など、活用できる国からの補助財源等を検討し予算確保に努める。	

(単位：千円)

事業名	過疎対策事業							事業コード	080203120315		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち					政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備						施策コード	921		
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課					所属長	岡部 陸幸			
会計情報	款	08 土木費	項	02 道路橋りょう費	目	03 道路新設改良費	会計	01 一般会計	決算附属資料	184	頁
計画期間	開始年度	昭和22年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	過疎計画			R7現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	-										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・自治会から市道改良等に係る多数の要望が提出されている。 ・経年劣化や舗装の耐久性の低下による段差やひび割れが発生しており、通行に支障が生じている。 ・道路幅員が狭く、離合が困難な道路が存在している。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・自治会要望が多数あることから、継続的な工事の実施が必要である。 ・舗装の劣化による段差や水たまり等は、車両だけでなく歩行者にとっても通行の支障となる。 ・幅員の狭い道路では、離合が困難で事故の危険性が高くなる。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・過疎地域における交通基盤を確保し、過疎地域の活性化を図る。 ・安心・安全な道路交通を確保することにより、過疎地域における市民生活の向上を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか簡条書きで記載すること 過疎計画に基づき、自治会要望箇所の必要度、緊急度、経済効果等を考慮し道路新設改良、道路部分改良を実施した。					
対象者	旧三町市民	対象者数	9,487	単位あたりコスト	7.3	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事等施工業者等					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	12,926	内宮北原線詳細設計業務、大迫藪ノ谷線測量業務			
	工事請負費	42,767	本谷線道路改良工事、ウツギ線道路改良工事ほか			
	公有財産購入費	402	本谷線道路改良工事(2工区)に伴う土地購入費 3名			
	補償、補填及び賠償金	9,011	市道本谷線道路改良工事に伴う配水布水管移設工事にかかる業務委託ほか			

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	75,035		94,524		0		0						
	② 補正予算	△ 6,000		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		69,035		94,524		0		0						
予算財源内訳	① 一般財源	35		24		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	69,000		94,500		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 29,417										
	② 配当予算	69,035		65,107										
	③ 執行額	68,567		65,107										
	④ 執行率	99.3%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.92	/	0.00	0.48	/	0.00			/				
	② 概算人件費	7,360		3,840										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		75,927		68,947										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	過疎対策事業(過疎対策)		種類	土木債		実績金額	43,900		決算附属資料	52		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	路線	4	6	6			
		目標値		4	6	6	0	0	
	適切な道路改良の実施	達成度		%	100%	100%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線	4	5	5			
		当初見込		4	5	5	0	0	
	工事実施路線数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	道路拡幅、舗装改良等を実施することにより、過疎地域の安心・安全な道路交通を確保し、過疎地域における市民生活の向上と地域の活性化を図る。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること ・本市の過疎地域における自治会要望に対し、過疎計画に基づく過疎対策債という有利な財源を活用し、計画的な市道の新設改良、舗装改良等を実施しており、快適な生活環境の確保や過疎地域の活力の創造に資することができている。 ・現計画は令和3年度から令和7年度までの計画となっているが、すべての自治会要望に答えられているわけではないため、前期の過疎計画から継続となっている路線等については、重点的に整備する必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・有利な財源である辺地対策債を活用し、計画に沿って事業を実施していく。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路整備)										事業コード	080203120336		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921			
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課						所属長	岡部 隆幸					
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	03 道路新設改良費		会計	01 一般会計	決算附属資料	184	頁
計画期間	開始年度	平成21年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・京都府が設定する社会資本整備計画における「京都府内における通学路等の交通安全対策の推進」及び「京都府内における防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進」に関連した整備を実施している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・優先順位をつけて計画的に事業を実施しているが、大規模工事となると用地買収や占用物の補償移転が必要となり、事業完了に複数年要する場合がある。 ・事業採択要件を満たさない箇所が多く、事業実施ができない場合がある。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 道路、橋梁等の地域のインフラ整備を通じて、地域住民の生活環境の向上を図る。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路改築、舗装修繕等の工事を実施することにより、交通基盤の整備を図り観光及び産業の振興を支援した。 ・歩道整備、側溝整備等の工事を実施することにより、通学児童生徒の安全確保を図った。										
対象者	全市民					対象者数	74,721		単位あたりコスト	2.9	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	155,000		170,000		123,700		0						
	② 補正予算	10,000		△ 40,100		0		0						
	③ 繰越予算	△ 73,542		112,689		0		0						
	前年度繰越	65,662		139,203		0		0						
	次年度繰越	△ 139,203		△ 26,514		0		0						
小計(①～③)		91,458		242,589		123,700		0						
予算財源内訳	① 一般財源	9,388		12,411		15		0						
	② 国支出金	48,570		128,878		64,785		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	33,500		101,300		58,900		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	1,154		△ 33,216										
	② 配当予算	92,612		209,373										
	③ 執行額	89,917		208,167										
	④ 執行率	97.1%		99.4%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.67	/	0.00	1.15	/	0.00	/						
	② 概算人件費	5,360		9,200										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		95,277		217,367										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	社会資本整備総合交付金事業(社会資本整備総合交付金)		種類	土木費国库補助金		実績金額	36,356		決算附属資料	18		頁
			社会資本整備総合交付金事業(社会資本整備総合交付金)(繰越明許費分)			土木費国库補助金			75,398			18		
			社会資本整備総合交付金(道路整備)(公共事業等)			土木債			25,300			52		
			社会資本整備総合交付金(道路整備)(公共事業等)(繰越明許費分)			土木債			56,300			52		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

		定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線数	4	2	4					
		目標値		4	2	5	5	5			
	適切な道路改良の実施	達成度		%	100%	100%	80%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線数	4	2	2					
	工事実施路線数	当初見込		4	2	5	5	5			
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										
	道路、橋梁等の地域のインフラ整備を通じて、地域住民の生活環境の向上を図る。										
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度			
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績									
		目標値									
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度			
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績									
		当初見込									
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・道路は市民生活や経済活動の基礎となる重要な社会資本であり、事業実施することで利用者、沿線住民の安全を確保するとともに、利便性の向上、観光及び産業の振興を図っている。 ・社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施しているが、全国的に要望が多いことから本市の要望どおりに予算確保ができない状況となっている。								
現状の課題 に対する 改善策	・通学路等の交通安全対策の推進や、道路構造物の老朽化対策、防災・減災対策と安心・安全な道路整備の推進に対する交付金制度を活用し、安心・安全な道路網の整備や道路状況を保持していく事業であるため、今後についても継続して実施する。								

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	路線数	2	5	4			
		目標値		3	5	5	5	5	
	適切な道路改良の実施	達成度		%	67%	100%	80%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	路線数	2	3	2			
		当初見込		3	5	5	5	5	
	工事実施路線数								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内の道路網を整備することにより、災害時における避難経路を確保し、沿道住民及び通行者の安心・安全な道路環境を確保する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること ・地方版総合戦略(まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略)に基づいて、北近畿の拠点としてのネットワークづくりを強化して地域を再生していくために策定した、地域再生計画『北近畿の拠点“福知山”のネットワークを強化する道づくり計画』に市道及び林道の道路改良・舗装改良等を位置づけ、計画的に事業に取り組むことで、地方創生の推進に寄与している。 ・令和5年度からは『持続可能な生活を支える基盤の整ったまち～まちづくり構想福知山』に計画名を変更し取り組んでいる。								
	・地域再生計画では少子高齢化・人口減少などの社会経済情勢の変化に対応した地域の再生を図ることを目的としていることから、計画に掲載している市道の整備をすることで、観光客の流入を図り、地域経済の活性化を図るなど地方創生への効果を可視化していく必要がある。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	橋りょう長寿命化対策事業										事業コード	080204120324				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921					
事業担当	所属	350200 建設交通部道路河川課							所属長	岡部 隆幸						
会計情報	款	08 土木費		項	02 道路橋りょう費		目	04 橋りょう維持費		会計	01 一般会計		決算附属資料	185		頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	道路法															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・損傷が顕在化した事後的な補修を繰り返す事後保全型の維持管理からコスト縮減可能とされる予防保全型の維持管理へ転換を目指している。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・現時点において5%程度残存している早期措置段階(Ⅲ判定)の橋梁に対する集中的な補修を実施し、予防保全型維持管理へ早期に転換する。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) ・計画的に橋梁の健全性を把握し、損傷が顕在化する前に予防的な補修を実施することにより少ないコストで良好な状態を継続させる。 ・公共交通の維持、交通手段の確保として今後も橋梁は重要なインフラ施設であるため、健全性を維持し続ける必要がある。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・道路構造物の定期点検が義務化された道路橋(橋長2.0m以上の橋)定期点検を5年毎に実施し、確認した損傷の状況から総合的な診断により健全性の区分の評価をするため、橋梁点検業務を実施した。 ・健全性の評価から早期措置段階(Ⅲ判定)となった橋梁を集中的な補修を実施するため、事業計画に基づく設計及び補修工事を実施した。										
対象者	全市民(橋りよう利用者)					対象者数	74,721		単位あたりコスト	5.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	277,800		281,100		326,600		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	△ 42,203		91,170		0		0						
	前年度繰越	131,647		173,850		0								
	次年度繰越	△ 173,850		△ 82,680		0		0						
小計(①～③)		235,597		372,270		326,600		0						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 504		6		1,600		0						
	② 国支出金	126,711		203,926		178,750		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	81,000		126,300		111,300		0						
	⑤ その他特財	28,390		42,038		34,950		0						
決算情報	① 流充用額	0		1,000										
	② 配当予算	235,597		373,270										
	③ 執行額	235,385		373,264										
	④ 執行率	99.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全計年度任用職員)	1.18	/	0.00	2.05	/	0.00			/				
	② 概算人件費	9,440		16,400										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		244,825		389,664										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	橋りょう長寿命化対策事業(道路メンテナンス事業補助)		種類	土木費国庫補助金		実績金額	108,862		決算附属資料	18		頁
			橋りょう長寿命化対策事業(道路メンテナンス事業補助)(繰越明許費分)			土木費国庫補助金			95,614			18		
			橋りょう長寿命化対策事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)			基金繰入金			32,025			38		
			橋りょう長寿命化対策事業(公共事業等)			土木債			62,400			52		
			橋りょう長寿命化対策事業(公共事業等)(繰越明許費分)			土木債			70,400			52		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	件	0	0	0			
		目標値		0	0	0	0	0	
	橋梁老朽化に伴う事故発生件数		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	橋	247	104	263			
	橋梁点検実施数	当初見込		259	104	312	226	259	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
・公共交通の維持、交通手段の確保として今後も橋梁は重要なインフラ施設であるため、健全性を維持し続けることが重要であり、橋梁の老朽化に伴う事故発生を抑制し健全性を維持し続ける必要がある。									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・平成26年7月より国土交通省の橋梁定期点検要領に基づき、5年に1度の近接目視点検を実施しており、現在、3巡目の点検を実施しているところで、点検結果により長寿命化計画を策定して維持管理を実施している。 ・点検結果を健全度4段階で評価しており、評価の悪かった(評定Ⅲ)橋梁について順次補修工事を実施している。 ・1000橋を超える橋梁を5年に1度の限られた期間の中で点検する必要があるため、計画的な実施が必要である。	
現状の課題 に対する 改善策	・執行に係る予算、財源については実施内容を精査した上で確保していく。 ・橋梁研修等に参加し、職員による点検を実施するための技能取得や、集約できる橋梁の整理も必要である。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	駅周辺公共施設管理事業										事業コード	080401110184				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921					
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課							所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	01 都市計画総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	187		頁
計画期間	開始年度	平成22年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山駅自転車等駐車場条例 ほか															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 福知山駅付近連立立体交差事業及び福知山駅周辺土地区画整理事業により創出した高架下土地及び駅前広場について、指定管理者制度を導入することで、民間事業者の経営ノウハウ等を活用し、施設の運営と維持管理を行う。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 精算機等の機械投資に必要な経費に対して駐輪場等の使用料が低く、施設全体を見ると赤字となっている。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 福知山駅を利用する通勤者・通学者、福知山駅周辺への買い物客、福知山駅への送迎者の利便性を向上させるとともに、不法駐輪及び不法駐車を抑止し、歩行者等の安全確保、良好な都市空間の形成を図る。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・指定管理業務の実施(指定期間：R6～R12) ・駐車場内区画線の修繕 ・キャッシュレス決済制度の導入 ・施設の運営に関する指定管理者との協議(適宜実施)				
対象者	市民	対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	36,249		48,466		47,970		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		36,249		48,466		47,970		0				
予算財源内訳	① 一般財源	18,553		28,196		26,043		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	17,696		20,270		21,927		0				
決算情報	① 流充用額	796		0								
	② 配当予算	37,045		48,466								
	③ 執行額	37,045		47,702								
	④ 執行率	100.0%		98.4%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.19	/	0.40	0.17	/	0.20	/				
	② 概算人件費	2,640		1,920								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		39,685		49,622								
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	駅南口広場待機場使用料		種類	土木使用料		実績金額	277	決算附属資料	9	頁
			駅北口広場待機場使用料			土木使用料			396		9	
			駐輪場・駐車場使用料			土木使用料			22,142		9	
			駐輪場管理手数料			土木手数料			92		13	
					27							

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	台	8	9	5			
	駐輪場内放置自転車台数	目標値		0	0	0	0	0	
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	14035	14806	15220			
	駐輪場使用料	当初見込		22369	22369	22369	22369	22369	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	各学校への営業活動、自動空気入れやキャッシュレス決済の導入など、駐輪場定期利用者の確保と利便性の向上に向けた取り組みを実施した。 また、交通政策の担当係と連携し、交通安全の啓発活動にも寄与した。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 令和6年度より指定期間が新たに開始され、自動空気入れやキャッシュレス決済の導入など、利用者の利便性向上に向けた取り組みを新たに行った。 今年度においては、駐輪場管理事務所の職員の接遇態度について担当課に直接苦情の電話が入ったこともあり、改めて指定管理者内部で接遇研修や人権研修等に力を入れていただき、利用しやすい施設運営を目指す。								
現状の課題 に対する 改善策	指定管理者内部における接遇研修等について、より力を入れて実施するよう指示する。								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金積立事業										事業コード	080402110154		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921			
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課						所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	02 土地区画整理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成23年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－			R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事业 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 定期借地契約による貸付料や土地区画整理事業に伴う普通財産売払収入について、基金への積立を行い、鉄道網整備及び関連都市計画事業に対する財源とする。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 普通財産の売払い完了を目指す。 定期借地契約土地について、契約期間満了後の取扱いについて関係課と方針を決定する。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てを行い、鉄道網整備事業及び鉄道網整備に関連する都市計画事業の促進を図る原資とすることを目的とする。また、基金に積み立てて生じる運用利子を得ることで、原資を効率的に増やし、その事業を充実させる。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 商業施設の誘致による事業用定期借地料や土地区画整理事業による市有地の土地売払収入について、鉄道網整備事業及び関連都市計画事業基金に積み立てる。					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,985		30,985		30,985		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		30,985		30,985		30,985		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	30,985		30,985		30,985		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	30,985		30,985									
	③ 執行額	23,006		23,006									
	④ 執行率	74.2%		74.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.05	/	0.00	0.05	/	0.00			/			
	② 概算人件費	400		400									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,406		23,406									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	土地貸付収入(都市・交通課)		種類	財産貸付収入		23,006		決算附属資料	29		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	百万円	347	371	393			
		目標値		500	500	500	500	500	
	基金積立残高	達成度		%	69%	74%	79%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	2	2	2			
	定期借地契約件数	当初見込		2	2	2	2	2	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	定期借地期間満了後の取扱いについて、資産活用課や法務政策監と協議を行った。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度		%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること 事業用定期借地契約による安定的な収入について、一般財源とせず基金に積み立てて効率的に運用することで、石原土地区画整理事業や街路整備事業に対する財源の確保を行った。 定期借地契約満了後の方針が未定である。
現状の課題 に対する 改善策	資産活用課及び法務政策監と協議を進め、画一的な方針決定を進める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	街路事業(篠尾線 篠尾工区)										事業コード	080403120332			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備						
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課						所属長	川島 奈都代						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	03 街路事業費		会計	01 一般会計		決算附属資料	188	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン				R7現在の状況	他事業へ統合		
根拠法令等	都市計画法、道路法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和59年に都市計画決定を受けた都市計画道路篠尾線については、概成区間である市道福知山停車場奥榎原線から国道9号までの210mが未整備区間である。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 既存の市道は通学路に指定されているものの、歩道が狭小もしくは未整備の区間がある状況であり、国道9号の4車線化事業と併せて整備を実施し、地域交通の安全向上を図る必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 篠尾線概成区間から国道9号までの区間(210m)を整備することで、通学路の安全確保のみならず、農免道路を経由した道路網を構築し、国道9号4車線化工事との相乗効果を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 事業用地の買収と支障物件の移転補償 用地の買収に伴う公共囑託登記業務及び補償設計業務 事業用地所有者、隣接土地所有者及び関係機関との協議 令和7年度より「街路事業(福知山綾部線)」に統合し、「街路整備事業」とした。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	0.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	25,274		58,407		0		0		
	② 補正予算	0		13,942		0		0		
	③ 繰越予算	△ 2,221		△ 18,853		0		0		
	前年度繰越	21,329		23,550		0		0		
	次年度繰越	△ 23,550		△ 42,403		0		0		
小計(①～③)		23,053		53,496		0		0		
予算財源内訳	① 一般財源	1,712		2,985		0		0		
	② 国支出金	12,341		29,111		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	9,000		21,400		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
決算情報	① 流充用額	△ 511		△ 6,823						
	② 配当予算	22,542		46,673						
	③ 執行額	22,438		45,171						
	④ 執行率	99.5%		96.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.50	/	0.00	0.65	/	0.00	/		
	② 概算人件費	4,000		5,200						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		26,438		50,371						
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	街路事業(篠尾線篠尾工区)(防災・安全交付金)	種類	土木費国庫補助金	実績金額	12,686	決算附属資料	18	頁
			街路事業(篠尾線篠尾工区)(防災・安全交付金)(繰越明許費分)		土木費国庫補助金		10,719		18	
			街路事業(篠尾線篠尾工区)(公共事業等)		土木債		9,300		53	
			街路事業(篠尾線篠尾工区)(公共事業等)(繰越明許費分)		土木債		7,800		53	
				41						

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44490	44490	44490			
		目標値		44700	44700	44700	44700	44700	
	都市計画道路整備進捗率	達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	22.4	26.3	33.9			
	事業進捗率(事業費ベース)	当初見込		26.4	29.8	39.7	42.3	100	
	活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 事業用地の買収及び支障物件の補償、買収予定地の土地境界の確認 関係地権者との協議							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	令和6年度においては、支障物件の補償契約と事業用地の買収を行ったほか、次年度以降の買収予定地の境界確認を行った。 都市計画道路の工事着手に向けて、事業用地の確保に努めた。 地元自治会や地権者それぞれの要望事項について、引き続き課題整理を行う。
現状の課題 に対する 改善策	要望事項や各課題について、各論的なものはそれぞれ該当者と個別に話を進め、事業用地の買収を進める。 令和7年度より「街路整備事業」へ事業統合

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	街路事業(福知山綾部線)										事業コード	080403120344			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備					
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課							所属長	川島 奈都代					
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	03 街路事業費		会計	01 一般会計		決算附属資料	188・189	頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和11年度		関連計画名	福知山市都市計画マスタープラン				R7現在の状況	他事業を統合		
根拠法令等	都市計画法、道路法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 昭和43年に都市計画決定を受けた都市計画道路福知山綾部線については、本市の都市計画マスタープランだけでなく、京都府が策定する都市計画区域マスタープランにおいても、整備を促進すべき幹線道路として位置づけられている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 現在の府道福知山綾部線は、自転車や歩行者の通行が多い路線ではあるが、歩道が狭小もしくは未整備の区間がある状況であり、京都府施行の福知山綾部線土工区の拡幅や大谷川拡幅と併せて整備を実施し、地域交通の安全向上を図る必要がある。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 都市計画道路福知山綾部線は、第2次緊急輸送道路にも指定されている防災上重要な道路であるが、土地内の一部の歩道や、石原土地区画整理事業地内より東側の興・観音寺地内が未整備であるため、京都府と連携しながら道路整備の進捗を図る。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 事業用地の買収と支障物件の移転補償 用地の買収に伴う公共嘱託登記業務及び補償設計業務 事業用地所有者や地元自治会、関係機関との協議 令和7年度より「街路事業(篠尾線篠尾工区)」を統合し、「街路整備事業」とした。									
対象者	市民				対象者数	75,000		単位あたりコスト	1.0	
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	74,055		72,320		122,862		0						
	② 補正予算	△ 11,600		△ 7,324		0		0						
	③ 繰越予算	△ 5,325		△ 497		0		0						
	前年度繰越	27,000		32,325		0								
	次年度繰越	△ 32,325		△ 32,822		0		0						
小計(①～③)		57,130		64,499		122,862		0						
予算財源内訳	① 一般財源	5,824		7,483		342		0						
	② 国支出金	23,306		26,016		49,220		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	28,000		31,000		65,300		0						
	⑤ その他特財	0		0		8,000		0						
決算情報	① 流充用額	0		6,823										
	② 配当予算	57,130		71,322										
	③ 執行額	56,248		71,072										
	④ 執行率	98.5%		99.6%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 全時年度任用職員)	0.45	/	0.00	0.65	/	0.00			/				
	② 概算人件費	3,600		5,200										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		59,848		76,272										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	街路事業(福知山綾部線興工区)(防災・安全交付金)		種類	土木費国库補助金		実績金額	13,750		決算附属資料	18		頁
			街路事業(福知山綾部線興工区)(防災・安全交付金)(繰越明許費分)			土木費国库補助金			16,018			18		
			街路事業(福知山綾部線興工区)(公共事業等)			土木債			19,200			53		
			街路事業(福知山綾部線興工区)(公共事業等)(繰越明許費分)			土木債			11,700			53		
				42										

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	m	44940	44940	44940			
		目標値		45453	45453	45453	45453	45453	
	都市計画道路整備進捗率	達成度	%	99%	99%	99%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	0	4.4	9.9			
	事業進捗率(事業費ベース)	当初見込		2.6	9.1	12.6	21.4	100	
	活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。 事業用地の買収及び支障物件の補償 買収予定地の土地境界の確認 関係地権者及び地元団体との協議							
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
	活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	都市計画事業用地内の支障物件にかかる補償費の調査を行い、事業用地の買収と支障物件の補償を行った。 また、地元の要望事項を踏まえて都市計画道路の詳細設計業務を再度行い、都市計画道路事業の進捗状況と併せて地元や関係地権者と共有した。 地元自治会から多数要望事項を受ける中で、本件事業との関連を踏まえながら内容を精査し、可能な範囲での対応を検討する。
現状の課題 に対する 改善策	要望事項を精査し、地元自治会と協議を進める。 事業用地の買収と支障物件の補償について、各地権者と協議を進めていく。 令和7年度より「街路整備事業」として事業統合

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	都市計画事業用地管理事業										事業コード	080403510116		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備				
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921			
事業担当	所属	350500 建設交通部都市・交通課							所属長	川島 奈都代				
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費		目	03 街路事業費		会計	01 一般会計	決算附属資料	189	頁
計画期間	開始年度	平成25年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	－													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()													
関連事業	－													

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 過去に福知山市土地開発公社にて先行取得した土地や、現在事業認可を受けた都市計画道路事業用地等について、供用開始までの維持管理が必要となる。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 都市計画道路の供用開始まで必要な期間が多いほど、維持管理費用が増加する。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 都市計画事業用地について、将来の都市計画道路用地等として活用するために維持管理を行う。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 都市計画事業用地の草刈りや修繕、貸付を行う。					
対象者	管理地内の自治会(興、土師町、長田北、南本堀)		対象者数	1,183	単位あたりコスト	1.9
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	(公社)福知山市シルバー人材センター、伊東木材株式会社、株式会社A-PRO					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	委託料	1,266	都市計画事業用地草刈業務ほか			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,418		1,375		935		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		1,418		1,375		935		0						
予算財源内訳	① 一般財源	739		696		253		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	679		679		682		0						
決算情報	① 流充用額	511		0										
	② 配当予算	1,929		1,375										
	③ 執行額	1,929		1,266										
	④ 執行率	100.0%		92.1%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.15	/	0.00	0.13	/	0.00		/					
	② 概算人件費	1,200		1,040										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,129		2,306										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	電柱占用料		種類	土木使用料		実績金額	2		決算附属資料	9		頁
			街路事業用地使用料			土木使用料			1			9		
			街路事業用地貸付収入			財産貸付収入			672			30		
					45									

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	㎡		619.38	619.38	619.38			
		目標値		619.38	619.38	619.38	619.38	619.38		
	貸付面積	達成度	%	100%	100%	100%	0%	0%		
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	㎡		6827	8287	8520			
	除草面積	当初見込		8903	8903	8903	8903	8903		
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容① (アクティビティ)	除草業務の発注(年2～3回)									

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績								
		目標値								
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績								
		当初見込								
	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									
活動内容② (アクティビティ)										

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	都市計画事業用地の貸付により、維持管理費用の負担軽減を図った。 除草対象土地の繁茂状況に基づいて適切に除草時期を調整し、除草面積についても発注の都度検討しながら支出金額の抑制に努めた。 また、地元から要望のあった倒木可能性のある樹木や枝葉の張り出しが甚だしいものについては、伐採・剪定業務を行った。 引き続き必要な箇所については、除草・伐採業務を実施する。	
現状の課題 に対する 改善策	除草時期や倒木危険箇所の伐採業務の発注については、現地や地元要望等を総合的に判断して実施する。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	用地一般管理事業										事業コード	080101120205			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備					
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課							所属長	山本 裕之					
会計情報	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	179・180	頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	道路法・河川法・公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱・不動産登記法・租税特別措置法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 主に道路事業や河川事業に関する境界確定及び用地取得を行うが、そのために事務環境の整備、用地に関する知識や交渉技術の習得が必要である。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 用地取得等に関しては担当者が各事務の意味と各手順について十分に理解するとともに、地権者に分かりやすく説明することが求められるが、そのために必要な知識範囲が測量・登記・評価・税務・契約など多岐にわたることから、担当の研修等が必要である。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 用地買収事務や物件補償事務を適正に執行し、ひいては道路等インフラの適切な整備・維持管理に資するため、研修をはじめ情報収集を行う。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・用地対策連絡協議会への加入(用地補償基準等の取得・情報交換) ・用地交渉及び用地事業に関する研修への参加など ・事務用品の購入										
対象者	用地買収等の対象となる土地所有者					対象者数	20		単位あたりコスト	1,285.0	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	915		830		456		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		915		830		456		0					
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0					
	② 国支出金	915		830		456		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	0		△ 67									
	② 配当予算	915		763									
	③ 執行額	589		659									
	④ 執行率	64.4%		86.4%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	2.50	/	1.20	2.50	/	1.80			/			
	② 概算人件費	23,360		25,040									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		23,949		25,699									
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	国道9号用地事務費		種類	土木費国庫委託金		実績金額	659		決算附属資料	20	頁
					47								

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	名	31	13	19			
	用地交渉実施地権者数	目標値		20	20	20	20	20	
	事業用地の取得を図るため、地権者との用地交渉を実施する。	達成度		%	155%	65%	95%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	4			
	研修参加回数 (※延べ回数)								
	当初見込			5	5	5	5	5	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	京都府用地対策連絡協議会等の実施する研修への参加								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	用地取得については、概ね年度当初の計画通りに契約できており、個々の事業における目標はほぼ達成できたとみられる。 課題としては、事務担当者が事業の必要性と境界確定から用地買収までの事務内容について十分に理解した上で、地権者等から理解が得られるよう、わかりやすく説明する能力が求められる。また、事業進捗管理に関して、関係課や業務委託先との十分な連絡・調整が必要である。
現状の課題 に対する 改善策	事業の必要性と用地事務の流れについては年度当初に担当毎に確認及び打合せを行う。用地取得に関する知識の習得及び理解については、積極的な研修参加を促す。ただし、用地に関する興味と説明能力も必要であることから、継続的に担当する職員の配置を求める。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地籍調査事業										事業コード	080101510121			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備					
	施 策 名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備								施策コード	921				
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課							所属長	山本 裕之					
会計情報	款	08 土木費		項	01 土木管理費		目	01 土木総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	180・181	頁
計画期間	開始年度	平成24年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	第7次国土調査事業10箇年計画					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	国土調査法、地籍調査作業規程準則														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 土地売買などの取り引きを行う場合や道路や公園などの公共インフラを計画・建設する際に土地情報としての地籍測量図等は不可欠である。しかしながら、現状、法務局が備える地図等については、実際の土地の状況と一致しないことが多く不正確な情報が含まれる場合がある。				
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 明治時代に行われた測量は当時の技術的な限界により正確性に欠ける場合がある。また、地籍情報が適切に更新されず現状と異なることがあるため、新たな復元性の高い地図を備え付けなければならない。				
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 土地に関する基本情報(所在、地番、地目、所有者、境界、面積など)を一筆ごとに調査し、最新の測量技術により地図を作成する。その結果を登記所に送付することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めるとともに土地利用の促進に寄与する。				
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地籍調査業務委託の発注 ・地図、地籍情報の現状把握 ・一筆地調査(立会・測量・図面作成)の実施 ・土地所有者への成果の閲覧 ・登記所への地籍図、地籍簿の送付、登記情報の更新				
対象者	調査地区内の土地所有者	対象者数	4,900	単位あたりコスト	14.3
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	20,154		20,127		19,764		0					
	② 補正予算	△ 7,000		△ 5,200		0		0					
	③ 繰越予算	4,640		0		0		0					
	前年度繰越	4,640		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		17,794		14,927		19,764		0					
予算財源内訳	① 一般財源	8,399		8,246		7,122		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	9,292		6,567		12,522		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	103		114		120		0					
決算情報	① 流充用額	0		0									
	② 配当予算	17,794		14,927									
	③ 執行額	17,558		14,351									
	④ 執行率	98.7%		96.1%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	4.90	/	3.20	5.30	/	4.70	/					
	② 概算人件費	48,160		55,560									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		65,718		69,911									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	市道・法定外公共物境界確定等証明手数料		種類	土木手数料		実績金額	82		決算附属資料	13		頁
		地籍調査成果証明等手数料			土木手数料			27			13		
		国土調査費補助金			土木費府補助金			7,575			27		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	地区	9	10	11			
	地籍調査事業 実施地区数(累計)	目標値		15	15	15	15	15	
		達成度	%	60%	67%	73%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	本	8	8	8			
	地籍調査事業 業務発注数(年度計)	当初見込		8	8	8	7	7	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	地籍調査事業 各地区、各工程の業務実施								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること								
	・順次新規地区に取り組み、事業を進めている。調査成果を法務局に登記し、現地復元性のある地籍図や新しい土地の情報をまとめた地籍簿を作成し登記所に送付することで、災害復旧を含む公共事業の円滑な実施及び土地の利活用の促進に寄与している。 ・国府補助金などの財源について確保を図る必要がある。								
現状の課題 に対する 改善策	・「第7次国土調査事業10箇年計画」に基づき「優先度の高い地区」から実施することとし、災害復旧を含む公共事業の円滑な実施や、経済効果の見込める地区から取り組んでいく。 ・社会資本整備と連携した地籍調査事業の検討を図り、より良い補助メニューを検討、活用するとともに、引き続き、近畿ブロック国土調査推進連絡協議会や京都府国土調査推進連絡協議会と連携し補助金の確保を要望していく。								

| 事業属性

(単位：千円)

事業名	法定外公共物管理事業							事業コード	080101510123			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち						政策目標	2 産業基盤の整備			
	施策名	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備							施策コード	921		
事業担当	所属	350700 建設交通部用地課					所属長	山本 裕之				
会計情報	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	181	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市法定外公共物管理条例・同施行規則・福知山市法定外公共物の財産管理に関する処理要領・福知山市法定外公共物等改修助成金交付要綱											
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 ()											
関連事業	－											

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 地方分権の推進に伴い、従来は国の所管であった法定外公共物(里道・水路)が市町村に一括譲与された。(平成17年3月末) これを受けて財産管理の範囲である占有手続や用途廃止等に関する事務を市が行うこととなった。それらを適切に維持管理することが求められる。維持管理について、内容によっては自治会等の負担が過大な場合がある。また、人口減少や高齢化に伴い、自治会等で対応自体が困難な地域が増えつつある。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 限られた財源を有効に利用するため法定外公共物の改修助成の対象となる自治会の選定の際には、限られた資源等を有効に活用するため、緊急性や重要性を考慮した上で実施する。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 法定外公共物(里道・水路)の占用許可・用途廃止及び売払い等の事務執行をはじめ、適正な財産管理をすることにより、自治会等の地域に密接した法定外公共物(里道・水路)の適切な維持管理及び有効活用を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・法定外公共物(里道・水路)の占用申請に対する許可 ・法定外公共物(里道・水路)の用途廃止及び売払い等 ・法定外公共物(里道・水路)の改修助成及び緊急修繕等					
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店					
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	役務費	32	手数料(里道樹木枝伐採及び草・剪定枝の処分等)			
	委託料	429	法定外公共物管理システム保守業務			
	原材料費	7	里道修繕に伴う常温合材購入			
	負担金補助及び交付金	1,992	法定外公共物等改修助成金			

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	2,734		2,734		2,634		0						
	② 補正予算	2,000		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0								
小計(①～③)		4,734		2,734		2,634		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	2,000		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	2,734		2,734		2,634		0						
	① 流充用額	△ 1,001		△ 264										
決 算 情 報	② 配当予算	3,733		2,470										
	③ 執行額	2,828		2,460										
	④ 執行率	75.8%		99.6%										
	① 従事職員数 (正職員 / 金計年度任用職員)	1.25	/	0.80	1.35	/	0.80	/						
人 概 工 算	② 概算人件費	12,240		13,040										
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	15,068		15,500										
主な利用特財 (R6年度実績値)		特財名称	法定外公共物占用料(里道・水路)		種類	財産貸付収入		実績金額	468		決算附属資料	29		頁
			法定外公共物管理事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)			基金繰入金			1,992			38		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	11	12	8			
	法定外公共物の改修等箇所数	目標値		8	8	8	8	8	
		達成度	%	138%	150%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	千円	1997	2340	1992			
	法定外改修助成金額	当初見込		2000	2000	2000	2000	2000	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	自治会等が行う法定外公共物の改修等に対して改修助成金を交付する								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	・法定外公共物の適正な管理を行うべく、占用許可及び売払い等を適切に実施できている。 ・機能を有しない、もしくは必要のなくなった法定外公共物については、用途廃止及び売払いを進めることで効率的な維持管理が行えている。 ・改修助成については、平成30年6月の改修助成金交付要綱の改正によりその対象を拡大し、要望に対する効果的な対応が可能となった。 ・課題としては、日常的な維持管理については地元で対応いただいているが、災害時など緊急時の修繕費用の確保が必要である。	
現状の課題に対する改善策	・災害時など緊急を要する場合については、速やかに関係部署との協議を行い、予算確保に努める。	